

海外標準形縮小機械室エレベーター “ NexWay - S ”

久保田猛彦* 松田和子*
西田隆雄*
光井 厚*

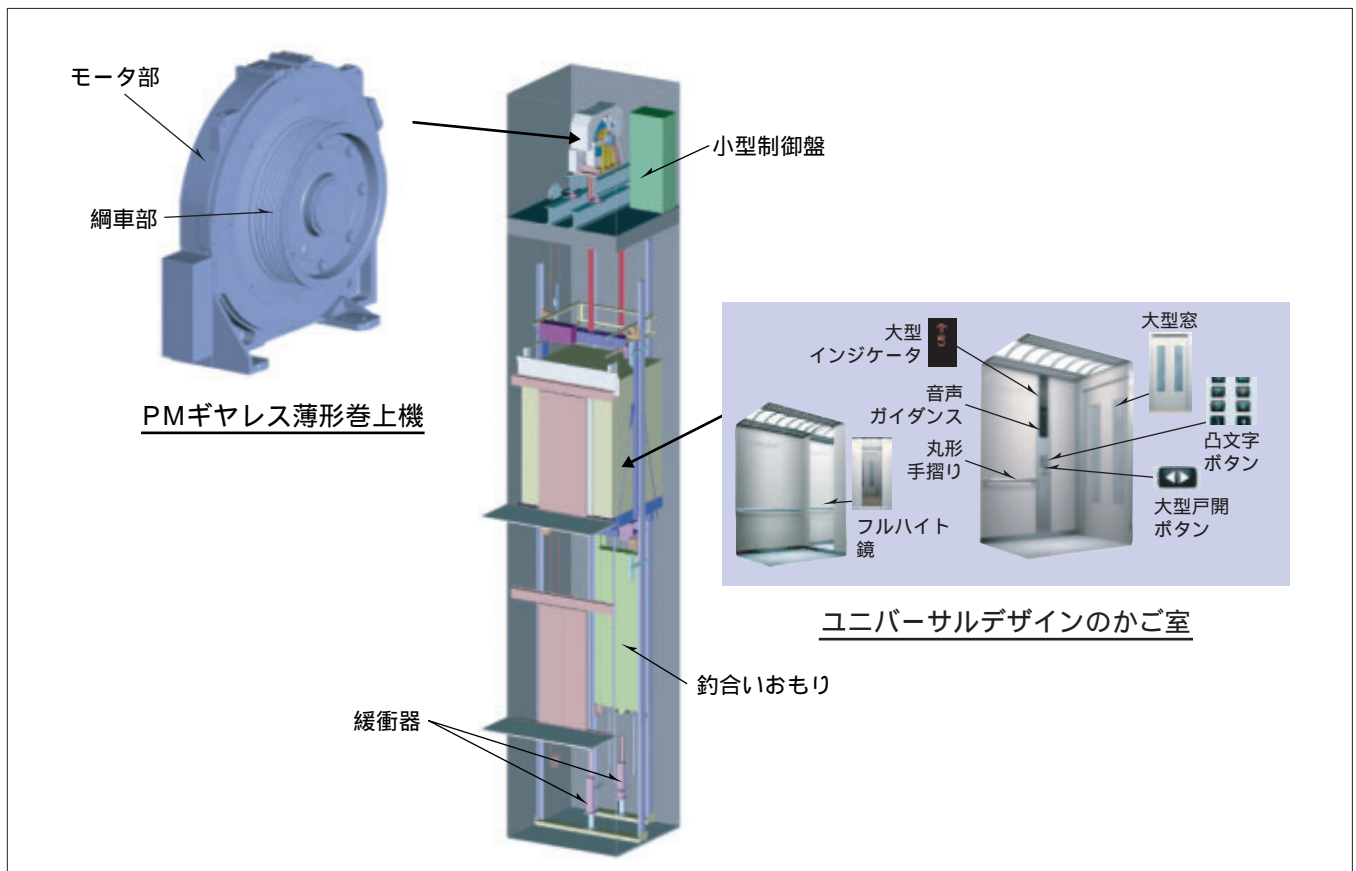
Compact Machine Room Elevators “ NexWay - S ”

Takehiko Kubota, Takao Nishida, Atsushi Mitsui, Kazuko Matsuda

要 旨

海外標準形エレベーターである“ GPS - ”が三菱電機の海外昇降機ビジネスを支えてきたが、欧州でLift Directiveが制定されて以来、各国法規がEN (Europäische Norm) コードをベースとした規格へと見直しが進められた。これに対して、当社は標準形縮小機械室エレベーター “ NexWay - S ”を開発し、2004年4月から出荷を開始した。NexWay - Sの製品の特長を以下に示す。

- (1) 永久磁石式同期モータ(以下“ PMモータ ”という。)を採用した薄形巻上機と新小型制御盤の開発により、機械室面積を昇降路面積と同じにすることを可能とし、ギヤレス化により走行性能を向上した。
- (2) 欧州など各国の身障者対策コードを考慮しながら、より多くの人が快適に利用できるユニバーサルデザインを展開した。
- (3) 法規対策構造の簡素化、当社の優位な技術の海外展開、海外製造拠点からの安価な部品供給体制の構築により、海外法規対策に要するコストアップを抑制したシステムを構築した。
- (4) ハイトラクションロープの適用、かご枠構造の最適化により機械システムの軽量化を図り、大幅なコスト低減を実現した。



NexWay - Sの構造

NexWay - Sは、PMモータを採用した薄形巻上機と新小型制御盤の開発により、機械室面積を昇降路面積と同じにすることを可能とした標準形縮小機械室エレベーターである。また、欧州など各国の身障者対策コードを考慮しながら、より快適に利用できるユニバーサルデザインを展開した。